



同窓会理事長 入江 泉

会員の皆様には日頃から同窓会の活動にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。今年度も広報委員を始め大勢の方々のご尽力により広報第26号が完成いたしました。同期会など開催の際、特集「変わる風景 変わらぬ思い出」や同窓会の活動状況および母校の現状などの記事が話題の一つになることを願っています。

往事茫々と言いますが、昭和38年卒の私の記憶の中の学舎の姿は次第に不鮮明になっています。しかし、すきま風の入ってくる木造の教室、入り浸っていた部室、校門に入ってすぐ左の大きなクスノキなど、懐かしく思い出すことのできる風景がいくつもあります。

皆様の思い出の風景はいったいどのようなものでしょうか。特集の記事もご覧になり、実際にお訪ね頂ければ幸いです。

来月の11月16日には恒例の同窓会総会・懇親会を予定しています。また、母校支援の一環として学校所蔵作品の修復費用を同窓会として負担してまいりましたが、修復された作品を一堂に集めた特別展が11月15日から22日まで同窓資料館にて行われます。このような諸行事にもぜひ足をお運び頂きますようお願いいたします。



校長 竹田義宣

今春の異動で、田中広矛前校長の後任として着任いたしました。

校長としての思いは、自主自律をはじめとする本校の伝統をしっかりと継承するとともに、新しい時代をリードする学校として更に発展させ、入学した生徒一人一人の能力・個性を最大限伸ばしていきたいというものです。

本校では、伝統である文武両道を目指し、本物に触れ本質を探究する取組みを積極的に行っていますが、この1年間も、生徒は様々な分野で素晴らしい活躍を見せています。(詳しくは、本会報及び本校ホームページをご覧ください)

「朝日は昇らなくてはなりません。」その輝きは一人ひとり異なりつつも、自分の将来とともに、社会の将来にも責任を持つとする「高い志」をもち、新たな社会を牽引し世界の未来を拓くリーダーを育成することが、本校の使命ととらえています。

そのために、卒業生の皆様のお力もお借りしながら、一人一人に挑戦の場を拡大し、切磋琢磨で高めあうとともに、思いやりのある行動が取れるよう、温かく受容的な学校風土の形成を大切にしたいと考えています。今後とも、本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 寄贈作品の修復と特別展

本年、朝日高では同窓会による母校支援を受け、油彩画2点を修復しました。二女～朝日高の美術教員であった若林喜久平氏については2年前の会報で紹介しましたが、1点は同氏の「臺所」です。「第五回山陽学生洋画展」で最高賞の「山陽賞」を獲得、同氏が美術の道に進むことになった原点の作品です。いま一つは就実短期大学教授などを歴任した平勇雄氏の「梅」で、故郷の和気の風景を描いた作品です。額についても購入させて頂きました。

修復作品数は30点を超えましたが、書道作品を中心に修復が必要な作品はまだ残っております。今後ともご支援のほどをお願いします。また今年度、これまでの成果を披露する特別展「岡山朝日高校所蔵修復作品展」(詳細は最終頁)の開催を予定しています。ご高覧頂きますようお願い申し上げます。



平勇雄「梅」



若林喜久平「臺所」